

# 京都市社会福祉協議会 事業報告・決算

「第4次中期計画（平成27年度～31年度）」の5つの柱にそって平成29年度の主な重点事業の実施状況を報告します。

## 1 「生活に困窮する人の自立支援」と「社会的孤立を防ぐ取り組み」の一体的な推進

- ①生活に困窮する人の自立支援
  - ▼生活福祉資金貸付の実施  
貸付決定 1982件、6億744万6500円  
償還実績 5億967万2982円  
※いずれも不動産担保型生活資金除く
  - ▼新たな貸付事業の実施  
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金 73件、2450万円  
施設等入所児童自立支援資金 8件、680万2000円
  - ▼権利擁護の体制整備に関する取り組み  
地域福祉権利擁護事業の実施  
実利用者数 823人、新規利用者数 198人  
延べ利用者数（京都市内分除く）2014人
  - ▼権利擁護・成年後見制度を推進するための学習会を開催
- ②新たな仕組みづくり
  - ▼生活困窮社会における地域づくり研究会を7回開催。切れ目のない相談支援体制づくり等を論点とした「中間まとめと論点整理」を発表
  - ▼きょうとフードセンターを3月28日に開設。社会福祉法人などの協力により府内4か所に一時保管施設を整備し、2社より食材提供をいただいた
- ③絆ネット・福祉のまちづくり
  - ▼商店・事業所、地域住民等による重層的な見守りネットワークづくりを目指す絆ネットを、府内19市町村社協で実施
  - ▼地域ひとつなぎ事業（訪問見守り団体への活動助成を実施）として府内350団体・4社協に984万円を助成
- ④新たな仕組みづくり
  - ▼生活困窮社会における地域づくり研究会を7回開催。切れ目のない相談支援体制づくり等を論点とした「中間まとめと論点整理」を発表
  - ▼きょうとフードセンターを3月28日に開設。社会福祉法人などの協力により府内4か所に一時保管施設を整備し、2社より食材提供をいただいた

## 2 社会福祉法人の連携・協働の促進と福祉サービスの質の向上

- ①わかプロジェクト（京都地域福祉創生事業）
  - ▼25法人の参画により、京都市、宇治市、亀岡市、城陽市、向日市、八幡市、京丹後市で子どもの居場所づくり・食事提供やひとり親家庭の支援として、学習支援活動などに取り組んだ。延べ349回、6488人が参加
  - ▼「わかプロジェクト活動報告会」を開催（9月9日）
  - ▼「広がれ！こども食堂の輪！全国」
- ②「アイン京都」を開催（3月10日）
  - ▼京都北部企画「ワンデイ地域食堂キッチンペーン」を実施（5団体が協力）
  - ▼福祉サービス利用者の権利擁護（京都府福祉サービス運営適正化委員会）苦情・問い合わせ件数462件、うち苦情対応件数97件
  - ▼京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構との連携  
評価件数 介護サービス分野176件、福祉サービス分野67件
- ③保育園就職フェア
  - ▼京都市等との共催によるフェアを2回開催するほか、単独でも1回開催
  - ▼きょうと介護・福祉ジョブネットの運営  
南丹地域をモデル事業に指定し、学生アルバイト募集のフリーペーパーを発行  
小中学生に対する理解促進を図るため、次世代の担い手育成事業を4校417人の参加を得て実施
- ④福祉職場の魅力発信
  - ▼ハートピア京都1階・FUKUJOBきょうとの活用

## 3 福祉・介護人材の確保・定着・育成のための総合的な事業の推進

- ①福祉人材マッチング事業（無料職業紹介事業）の取り組み
  - ▼マッチング支援事業  
新規登録者2605人、採用者269人
  - ▼潜在有資格者  
就業支援対象者1090人、採用者134人
  - ▼保育人材マッチング  
新規登録者373人、採用者52人
- ②就職フェアの開催
  - ▼福祉就職フェア  
広報強化等により来場者が前年度比6%増。新たに就活スタートアップフェアを開催（2月6日）

## 平成29年度 一般会計決算の概要

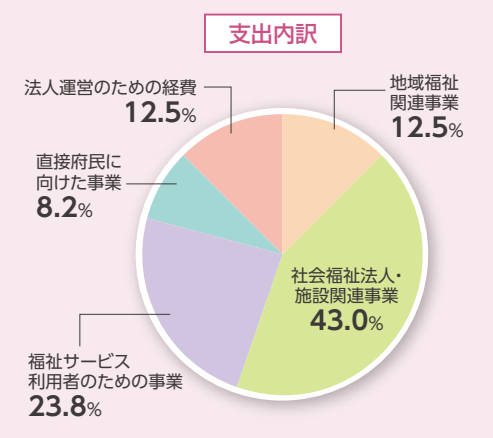
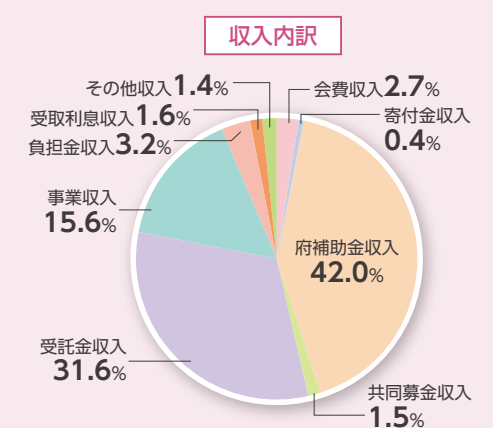
一般会計	平成29年度決算(A)	平成28年度決算(B)	差異(A-B)
事業収入	539,463,560	550,303,020	▲10,839,460
事業支出	531,057,688	505,803,305	25,254,383
事業収支差額	8,405,872	44,499,715	▲36,093,843
施設整備収入	0	1,477,440	▲1,477,440
施設整備支出	0	1,477,440	▲1,477,440
施設整備等差額	0	0	0
その他の収入	1,526,304	75,440	1,450,864
その他の支出	5,237,133	36,305,803	▲31,068,670
その他の収支差額	▲3,710,829	▲36,230,363	32,519,534
当期収支差額	4,695,043	8,269,352	▲3,574,309

（注）実質的収支とは、本会の事業運営に関わる収支を示すものとして、退職金支給にかかる収支、貸付事業の貸付金・償還金、ボランティア基金サービス区分及び会計区分間の収支を除外するなどを行った数値です。

## 生活福祉資金貸付金、償還金の状況

生活福祉資金には、教育資金をお貸しする教育支援資金、一時的に必要な経費をお貸しする福祉資金、失業等によってお困りの方に資金をお貸しする総合支援資金などがあります。平成29年度の貸付金、償還金の状況は下記のとおりです。

	平成29年度決算(A)	平成28年度決算(B)	差異(A-B)
貸付	606,341,000	675,149,674	▲68,808,674
償還	603,619,902	604,250,695	▲630,793



## 4 「防災・減災のまちづくり」と「被害者・被災地の思いに寄り添った災害支援活動」の推進

- ①台風18号、21号への対応
  - ▼被災地の社協・災害ボランティアセンターに職員、初動支援チームを派遣
  - ▼ボランティアによる支援活動 台風18号454人、台風21号297人
- ②平時の取り組み
  - ▼京都府災害ボランティアセンター（事務局）として、初動支援チーム員研修などを実施
  - ▼京都府災害時要配慮者避難支援センター（事務局・会計）として、災害派遣福祉チーム研修などを実施

## 5 幅広い協働による事業の展開

- ①民生委員制度創設100周年記念「京都市民生児童委員大会」の共催実施（10月17日）
- ②きょうと地域福祉活動実践交流会in乙訓の開催（2月17日）
- ③共に安心して暮らす京都デザインフォーラムの共催実施（12月9日）